

令和(6)年度 教科(国語) 第(3)学年 年間指導計画

【教科の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次の通り育成することを旨とする

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う

【教科のゴールイメージ】(つきたい力、資質・能力) 思考力・表現力、主体性、自己有用感

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使おうとする
- (2) 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力・表現力を養おうと(自分の思いや考えを広げようとしたり、深めようとしたり)する
- (3) 言葉を通じて主体的に(積極的に)人と関わる中で自己有用感を高めたり、(関わったり)、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとする

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	・定期テスト ・小テスト ・授業課題(スピーチ・レポートの技能等) ・書写作品	・定期テスト ・聞き取りテスト、作文テスト ・授業課題(スピーチ・レポートの内容等)	・提出物 ・ワークシート ・行動観察	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

	学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容(時数)	時数	他教科等との関連	
国語	1	4	深まる学びへ	世界はうつくしいと 握手 評価しながら聞く	1 4 1	特別の教科道徳	
		5		学びて時に之を習う—「論語」から 情報の信頼性 文章の種類を選んで書こう	2 1 4		
		6	視野を広げて	熟語の読み方・漢字に親しもう 作られた「物語」を超えて 具体化・抽象化	1 3 1		
			D 情報社会を生きる	説得力のある構成を考えよう 漢字に親しもう 文法への扉I	4 1 1		
		7	言葉とともに	実用的な文章を読もう／報道文を 比較して読もう 俳句の可能性・俳句を味わう	3 4 1		
		8	読書生活を豊かに 状況の中で	言葉を選ぼう 和語・漢語・外来語 「私の一冊」を探しに行こう	1 1 2		
			D 自らの考えを	実用的な文章を読もう／報道文を 比較して読もう 俳句の可能性・俳句を味わう	3 4 1		
			いにしえの心を受け継ぐ	和語・漢語・外来語 「私の一冊」を探しに行こう 挨拶—原爆の写真によせて 故郷 聞き上手になろう	2 6 1		
	2	9		論理の展開を整える 慣用句・ことわざ・故事成語 漢字の造語力	2 1 1	社会 理科 技術・家庭科 社会	
		10		人工知能との未来 多角的に分析して書こう	4 6		
		11		合意形成に向けて話し合おう 初恋	5 1		
			いにしえの心を受け継ぐ	古今和歌集仮名序 君待つと	1 3		
		12	価値を生み出す	夏草—「おくのほそ道」から 誰かの代わりに 情報を読み取って文章を書こう	4 3 4		
	3	1	読書に親しむ D未来へ向かって	本は世界への扉 温かいスープ	1 3	特別の教科道徳 技術・家庭科	
		2		わたしを束ねないで	2		
		3		三年間の歩みを振り返ろう	11		
	書写	1	4	効果的に文字を書こう	平仮名・片仮名を正確に書く	2	美術
			5				
6				手書き文字の特徴	2		
2		7					
		8					
		9		書き手の意図と表現	2		
3		10					
		11		現代につながる文字の役割	1		
		12		書き初めをしよう	1		
3	1		思いを文字で表そう	2			
	2						
		3					
総時数		105 時間					

令和(6)年度 教科(社会) 第(2)学年 年間指導計画

【教科の目標】社会的事象の地理的、歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する。

【教科のゴールイメージ】(つきたい力、資質・能力)身近な地域の地理、歴史や具体的な事象の学習を通して社会に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用して分析し適切に表現する能力と態度を育てる。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	ペーパーテスト (定期テスト、小テスト)	ペーパーテスト (定期テスト、小テスト) 課題提出(記録の整理、内容)	ペーパーテスト (定期テスト、小テスト) 課題提出(記録の整理、内容)	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容(時数)	時数	他教科等との関連
1	4	オリエンテーション	D 地域調査の方法(6)	18	技術・家庭科 理科 保健体育 特別 の教科道徳
	5	(地)日本のさまざまな地域	日本の地域的特色と地域区分(11)	22	
	6	(歴)近世の日本	ヨーロッパとの出会いと全国統一(8)		
	7		江戸幕府の成立と対外政策(6)		
2	8	(地)日本の諸地域	産業の発達と幕府政治の動き(8)	30	国語 保健体育・家庭
	9		D 九州地方(5)		
	10		中国地方(5)		
	11		近畿地方(5)		
	12		中部地方(5)		
3	1	(地)地域の在り方	関東地方(5)	6	技術・家庭科 技術・家庭科
	2	(歴)開国と近代日本の歩み	東北地方(5)		
	3		北海道地方(5)		
	3		D 身近な地域を調べる(6)		
総時数		105時間			

令和(6)年度 教科(数学) 第(3)学年 年間指導計画

【教科の目標】

基礎・基本の定着をはかり、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成する

【教科のゴールイメージ】(つきたい力、資質・能力)

事象を数理的に捉え、収集した情報を活用して、問題を自立的、協働的に解決しようとする

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	定期テスト 小テスト 単元テスト	定期テスト 小テスト レポート ワークシート・ノート(記述内容) 行動観察(発言、取組の様子)	レポート(記述内容) 振り返り(記述内容) ワークシート・ワークブック(記述内容) 行動観察(発言、記述、取組の様子)	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容(時数)	時数	他教科等との関連
1	4	式の計算	○多項式の計算(8)	20	
	5		○因数分解(6)		
	6		○式の利用(6)	17	
2	7	D 平方根	○平方根(14)	17	理科
	8	2次方程式	○平方根の利用(3)		
	9		○2次方程式の解き方(12)	17	
	10	○2次方程式の利用(5)			
2	11	D 関数 $y=ax^2$	○関数 $y=ax^2$ (16)	20	社会
	12	相似な図形	○いろいろな関数(4)	24	
			○相似な図形(11)		
3	1	D 円	○平行線と相似(7)	13	社会 総合
	2	D 三平方の定理	○相似と計量(6)		
	3		○円周角と中心角(8)	14	
3	1	D 三平方の定理	○円周角の定理の利用(5)	9	社会 総合
	2		○三平方の定理(5)	6	
	3		○三平方の定理の利用(9)		
総時数		140時間			

令和(6)年度 教科(理科) 第(3)学年 年間指導計画

【教科の目標】

自然の事物・現象に関り、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

【教科のゴールイメージ】(つきたい力、資質・能力) 主体性・思考力・表現力・自己有用感

自然の事物・現象への理解と探究心をもち、ICT 機器を活用し、科学的に説明しようとする。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	定期テスト 観察・実験レポート (記録の整理、資料の活用、記述内容) パフォーマンステスト	定期テスト 観察・実験レポート(記述内容) ワークシート(記述内容) プレゼンの内容	振り返りシート 観察・実験レポート(記述内容) ワークシート(記述内容) 行動観察(発言、記述、行動内容)	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容(時数)	時数	他教科等との関連
1~3	4 3	D 化学変化とイオン	○水溶液とイオン(9) ○酸、アルカリとイオン(10) ○化学変化と電池(11)	30	技術・家庭科 保健体育 技術・家庭科
		D 運動とエネルギー	○物体の運動(10) ○力のはたらき(9) ○エネルギーと仕事(13)	32	
		D 自然と人間	○自然のなかの生物(6) ○自然環境の調査と保全(5)	11	
1~3	4 3	D 生命の連続性	○生物の成長と生殖(9) ○遺伝の規則性と遺伝子(11) ○生物の多様性と進化(8)	28	保健体育 特別の教科道徳
		D 地球と宇宙	○地球の運動と天体の動き(10) ○月と金星の見え方(8) ○宇宙の広がり(6)	24	
		D 科学技術と人間	○科学技術と人間(8) ○自然災害と地域のかかわりを学ぶ(3) ○持続可能な社会をつくるために(4)	15	
総時数		140 時間			

令和(6)年度 教科(音楽) 第(3)学年 年間指導計画

【教科の目標】

- 音楽活動の楽しさを体験することを通して音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる
- 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を育てる
- 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める

【教科のゴールイメージ】(つきたい力、資質・能力)

生徒自らが音楽への見方・考え方を働かせ、仲間と協働しながら、音楽や音楽文化に豊かにかかわろうとする

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	・ペーパーテスト(定期テスト) ・技能テスト(歌や器楽テスト) ・行動観察(練習・取組の過程や内容)	・ペーパーテスト(定期テスト) ・ワークシート(記述内容) ・鑑賞の記録、レポート(記述内容)	・振り返りシート ・レポート(記述内容) ・ワーク(記述内容) ・行動観察(発言、記述、取組様子)	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容(時数)	時数	他教科等(道徳)との 関連
1	4	歌詞や曲の背景と音楽とのかかわりを生かして歌おう	○花	4	国語
	5	曲想や構造に注目して聴こう	○花の街	2	
	6	アルトリコーダを演奏しよう	○ボレロ	3	
		D音楽と背景となる文化や社会における意味を感じ取って表現しよう	○アルトリコーダ アンサンブル曲	2	
2	7	音のつながりや構成を工夫して音楽をつくろう	○Let It Be	2	英語
	8	合唱の響きを味わって歌い、合唱で心を通わせよう	○ポピュラー音楽	4	
	9	Dイメージや曲想と音楽の結びつきを感じ取ろう	○My Melody	5	
	10	ギターの基礎的な奏法を身につけて演奏しよう	○Let's Create	4	
3	11	日本の伝統芸能に親しもう	○学年合唱曲	5	特別の教科道徳
	12	D音楽と生活のつながり、社会における意味を知り音楽を楽しもう	○クラス合唱曲	4	
	1	心こめて伝わる合唱にしよう	○交響詩ブルタバ(モルダウ)	4	
3	2	心こめて伝わる合唱にしよう	○帰れソレントへ	4	美術
	2	D音楽と生活のつながり、社会における意味を知り音楽を楽しもう	○ギターでトレミファソラシド	2	
	3	心こめて伝わる合唱にしよう	○ギターでコード弾き「カノン」	2	
総時数	35 時間			3	社会(歴史) 特別の教科道徳 社会(地理、歴史)

令和(6)年度 教科(美術) 第(3)学年 年間指導計画

【教科の目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

【教科のゴールイメージ】(つきたい力、資質・能力)

- (1) 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度が身に付く。
- (2) 対象を辛抱強く見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や、形や色彩による表現の技能を身に付け意図に応じて創意工夫し、美しく表現する能力が発揮できる。
- (3) 自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の力が付く。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	・作品(完成度) ・期末試験(記述問題) ・期末試験(実技問題)	・作品(アイデア) ・アイデアスケッチおよび下描 ・期末試験(実技問題)	・授業への取り組み ・提出物 ・授業態度	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容(時数)	時数	他教科等との関連
1	4	・D鑑賞	○浮世絵とジャポニズム	1	社会
	5	・絵画	○立体表現	1	
	6	・D鑑賞	○鉛筆デッサン	4	
	7	・絵画	○オノマトペの表現(宮沢賢治)	1	
	8	・学期のまとめ	○物語画	5	国語
2	9	・D鑑賞	○学期のまとめ	1	技術・家庭科
	10	・鑑賞	○HIROSHIMA APPEALS 平和ポスター	1	
	11	・デザイン	○様々な立体表現	1	
	12	・学期のまとめ	○3Dボックス	9	
3	1	・D鑑賞	○学期のまとめ	1	社会
	2	・絵画	○フォークロアアート	5	
	3	・工芸	○点描画	3	
		・学期のまとめ	○パターン版画(布地)	3	
			○1年間のまとめ	1	数学
総時数		35 時間			

令和(6)年度 教科(保健体育) 第(3)学年 年間指導計画

【教科の目標】

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する。

【教科のゴールイメージ】(つきたい力, 資質・能力)

合理的で安全な練習や活動の中で、自身の体の変化に気づき、身体表現としての技能を身につける。できる・わかるための課題を発見・解決する過程で仲間と協働し、主体的に学習に取り組む。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度(5段階評定)
評価内容	各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けているか。	運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を身に付けているか。	生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養っているか。	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	定期テスト 実技テスト 学習ノート・ワークシート	定期テスト 振り返りカード・ワークシート 行動観察	振り返りカード・ワークシート 行動観察	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容(時数)	時数	他教科等との関連
1	4	体づくり運動	○様々な体力を高めるための運動を行う	7	特別の教科道徳
	5	陸上競技(短距離走・リレー)	○競技会:グループ対抗,個人対抗	8	特別の教科道徳
	6	D 器械運動(マット運動) 保健(健康な生活と疾病の予防)	○技を組み合わせさせてスムーズにつなげる ○感染症、保健・医療機関の利用、医薬品の有効利用、共に健康に生きる社会	10 6	特別の教科道徳 社会 理科 技術・家庭科
	7	武道(柔道)	○身につけた基本となる技を使って攻防を楽しむ ○練習課題を決めて練習	8	特別の教科道徳
2	8				
	9	D 球技(ベースボール型)	○課題解決に向けて練習の仕方を工夫する	10	特別の教科道徳
	10	球技(ゴール型)	○課題解決に向けて練習の仕方を工夫する	9	特別の教科道徳
	11	ダンス 保健(健康と環境)	○課題解決に向けて練習の仕方を工夫する ○環境の変化と適応能力、活動に適した環境、室内の空気の条件	8 5	特別の教科道徳 社会 理科 技術・家庭科
3	12	陸上競技(長距離走) 保健(健康と環境)	○課題解決に向けて練習の仕方を工夫する ○水の役割、生活排水の処理、ごみの処理、環境の汚染と保全	6 5	特別の教科道徳 社会 技術・家庭科
	1	体育理論(文化としてのスポーツ)	○スポーツの文化的意義、国際的なスポーツ大会とその役割、人々を結びつけるスポーツ	3	社会
	2	D 球技(ネット型) 球技(ゴール型)	○課題解決に向けて練習の仕方を工夫する ○課題解決に向けて練習の仕方を工夫する	11 9	特別の教科道徳 特別の教科道徳
総時数		105 時間			

令和(6)年度 教科(技術・家庭科 技術分野) 第(3)学年 年間指導計画

【教科の目標】

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成する

【教科のゴールイメージ】(つきたい力、資質・能力)

情報の技術の基礎的な理解と、それらに係る技能を身に付け、課題を解決する力を養う

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	ワークシート 小テスト 定期試験 制作品	ワークシート 設計図 定期試験 制作品	ワークシート 授業の振り返り 設計図 行動観察	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容(時数)	時数	他教科等との関連
1	4	D D 情報の技術	2-1 双方向性のあるプログラムコンテンツによる問題解決	8	
	5				
6					
7					
2	8		2-2 計測・制御による問題解決	8	
	9				
	10				
3	11		3 これからの情報の技術 学習のまとめ	1	
	12				
	1				
	2			0.5	
	3				
総時数	17.5 時間				

令和(6)年度 教科(技術・家庭科 家庭分野) 第(3)学年 年間指導計画

【教科の目標】

生活の営みに係わる見方・考え方を働かせ、衣食住に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する

【教科のゴールイメージ】(つきたい力、資質・能力)

自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し創造しようとする

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	ワークシート(記述内容) ペーパーテスト(定期テスト、小テスト) 体験学習	ワークシート(記述内容) ペーパーテスト(定期テスト) 長期休暇の課題 プレゼンの内容	振り返りシート ワークシート(記述内容) 行動観察(発言、記述、行動内容) 長期休暇の課題	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容(時数)	時数	他教科等との関連	
1	4	D 家族・家庭と地域	①私たちの生活と家族・家庭の機能	1	特別の教科道徳	
	5	これからの家族と地域	②中学生としての自立	1	特別の教科道徳 社会	
	6		③家庭生活と地域との関わり	1		
	7	幼児の生活と家族	①家族とのかかわり	1	特別の教科道徳 保健体育	
8	②家族や地域の高齢者との関わり		1			
2	9	D 私たちの消費生活と環境	③地域での協働を目指して	1	特別の教科道徳 社会 技術	
	10		①幼い頃の振り返り	1		
			11	②幼児の体の発達		1
				12		③幼児の心の発達
3	1	D 責任ある消費者になるために	④幼児の1日の生活	1	保健体育	
			⑤支えられて身に付ける生活習慣	1		
			⑥幼児の生活と遊び	2		
3	2	D 責任ある消費者になるために	⑦幼児の関わり方の工夫	1.5	保健体育	
			⑧幼児との関わりと生活に生かす	1		
			⑨子供にとっての家族	1		
3	3	D 責任ある消費者になるために	①消費者としての自覚	1	保健体育	
			②購入方法と支払方法	1		
			③バランスよく計画的な金銭の管理	1		
3	3	D 責任ある消費者になるために	④消費者トラブルとその対策	1	保健体育	
			①消費者としてできること(権利と責任)	1.5		
			②省エネルギーと持続可能な社会	1.5		
3	3	D 責任ある消費者になるために	③持続可能な消費生活を目指して	1.5	保健体育	
			①消費者としてできること(権利と責任)	1.5		
			②省エネルギーと持続可能な社会	1.5		
総時数	17.5 時間					

令和(6)年度 教科(英語) 第(3)学年 年間指導計画

【教科の目標】外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する

【教科のゴールイメージ】(つきたい力、資質・能力)

1. はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができる
2. 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができる
3. 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる
4. 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる
5. 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	ペーパーテスト (定期テスト、単元テスト、小テスト) リスニングテスト	ペーパーテスト (定期テスト、単元テスト、小テスト) リスニングテスト パフォーマンステスト ワークシート(記述内容) プレゼンの内容(記述内容) 言語活動の取り組み状況の観察	振り返りシート ワークシート(記述内容) パフォーマンステスト 言語活動の取り組み状況の観察 小テスト、リスニングテスト	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容(時数)	時数	他教科等との関連	
1	4	Unit0 Three Interesting Facts about Languages	○受け身	5	国語	
	5	D Unit 1 Sports for Everyone	○現在完了形(経験)、SVOC、SVOO(that 接)	18		
	6	Unit 2Haiku in English	○現在完了形(完了・継続)、現在完了進行形	19		
	7	Unit 3Animals on the Red List	○It is …、It is for …to…、let(help)人+動原	18		
8	Stage Activity 1	○これまでの活動経験を振り返り発表する。	8			
2	9	Unit 4 Be Prepared and Work Together	○間接疑問文、SVOO(what 節)、現在分詞、過去分詞	19		社会(歴史)
	10	Unit 5 A Legacy for Peace	○関係代名詞 that(which)【主格・目的格】	18		
	11	D Stage Activity 2	○日本や郷土の文化を紹介する。	8		
12	Unit 6 Beyond Borders	○仮定法(I wish I could / had (If+主語+were…))	17			
3	1 2 3	D Stage Activity 3 ※必要であれば Let' s Read を取り入れる。	○既習事項の総復習、ディベート	10		
総時数		140時間				